

## 石狩八幡小学校開校準備委員会 第13回会議【質疑要旨】

- ・日時 令和2年1月22日(水) 18:30～19:40
- ・会場 八幡コミュニティセンター 会議室
- ・出席者

委員

〔保護者〕

工藤 隆司 八幡小学校PTA会長  
富木 智之 石狩中学校PTA会長  
熊倉 可菜 くるみ保育園父母の会

〔学校関係者〕

吉田 光岐 石狩小学校校長  
三島 哲 八幡小学校校長  
坂田 育子 石狩中学校校長〔副委員長〕

〔学識経験者〕

戒屋 健一 学校支援地域本部事業・地域コーディネーター〔委員長〕

〔学校支援推進員〕

菊地 功 八幡小学校学校支援推進員

〔町内会代表者〕

牧野 勉 むつみ町内会会長  
藤田 修 虹が原町内会会長

〔教育委員会事務局〕

佐々木生涯学習部長  
佐藤教育指導担当次長  
安崎総務企画課長  
山田指導担当参事  
佐々木学校教育課長  
伊藤社会教育課長  
松永総務企画課主幹  
古屋総務企画課主査  
加藤総務企画課(施設担当)主査

〔保健福祉部〕

伊藤子ども政策担当次長  
川畑子ども政策課(子ども・子育て担当)主査

※出席10名

欠席5名

佐藤百恵 委員(石狩小学校PTA副会長)  
鈴木諭美江 委員(聚富小中学校PTA監査)  
玉井九美 委員(聚富保育園父母の会)  
青山 司 委員(聚富小中学校校長)  
中井 元 委員(石狩小学校学校支援推進員)

※傍聴者無し

- 委員長あいさつ（戒屋委員長）の後、会議次第により、次のとおり議事が進められた。

- 前回会議の質疑要旨の内容確認

全委員より了承をいただいた。

- 校歌について

事務局（松永総務企画課長）より資料（楽譜、歌詞の解説、作曲にあたっての思い）に基づき、説明した。

その後、作曲者の台坂香織先生（石狩小）のピアノ伴奏に併せ、石狩小と八幡小の教員有志（4名）の合唱により、校歌を披露した。

[質疑応答（感想など）]

（A委員）

メロディが耳に残って、馴染みやすい。子どもでも音程がとれやすいと感じた。

（戒屋委員長）

前奏部分がダイナミックで豪華な感じを受けた。田岡さん（前市長）が作られた歌詞もすごく心が込められて作られたと感じさせられ、作詞者、作曲者の意図が伝わり、子供たちも気持ちを込めて歌ってくれるものと期待している。

以上の質疑後、出席委員から了承が得られ、本日付けによる校歌の制定について確認された。

- 新年度の学校行事等スケジュールについて
- 保護者説明会（1/31）について

石狩小学校の吉田校長及び八幡小学校の東峰教頭より、別添資料「令和2年度石狩八幡小学校学校経営方針（日課表を含む）」、「令和2年度年間行事予定表」、「総合的な学習の時間：石狩八幡小学校『ふるさと教育』×SDGs」についてそれぞれ説明があった。

[質疑応答]

（A委員）

日課表に示されている、水曜日の60分授業について、子供たちが集中力を継続できるか少し心配である。

(石狩小・吉田校長)

週1回の60分授業については、普通教科ではなく、総合的な学習の時間として主に体験型の活動に特化して授業を行うこととしている。(→ A委員、了承)

以上、全体で了承され、1月31日(水)19時より開催する保護者説明会の資料として配付説明することを確認した。

## ● その他

事務局(松永総務企画課長)より、次の2点について報告した。

① 聚富小中学校の児童生徒の通学先意向調査(昨年11月実施)の結果、現在の小学1年から中学2年の全17名の児童生徒の内、小学生5名が新・石狩八幡小学校へ、中学生9名が石狩中学校への通学を希望しており、これを踏まえて、今後スクールバスの運行経路や発着時刻等を設定し、対象の児童生徒に周知する。

② 現・八幡小学校の施設改修等の状況について

本年4月の統合校・石狩八幡小学校の開校にあたり必要な施設改修や設備等の更新について、校舎外壁(亀裂箇所、塗装)、非常階段(錆落とし、塗装)、体育館(照明LED化、放送器具・スピーカーの更新)、校内トイレ(和式便器10器を洋式化)、図書室と市民図書館のオンラインネットワーク化がそれぞれ完了した。

今後、玄関タイルを改修するほか、体育館ステージ幕(校章入り)の更新、体育館内の校歌・教育目標板の付替え、外壁校章の付替え、校門(校名)プレートの付替えを、春休み中に完了できるように取り進める。

また、石狩小学校の備品や図書等の移転作業も、本年3月24日の修了式後に行う。

以上、全体で了承された。

続いて、保健福祉部の伊藤子ども政策担当次長より、放課後児童クラブについて次のとおり報告した。

③ 石狩小学校区にある放課後児童クラブ「つくしクラブ」について

本年1月8日時点における新年度の「つくしクラブ」への利用申請を、4世帯・5人の児童から受けており、いずれも今年度からの継続を希望されている方である。(新1年生の申請はない。)

このままの状態推移され、放課後児童クラブが10人を下回る状況は、集団生活や行事等の開催を考えると好ましくないと認識している。

また、つくしクラブの施設が築50年以上経過して老朽しているため、今春の石狩小の閉校後に、校舎の後利用により移転することも併せて検討しているが、今後、利用者数が少なくなる可能性が大きいことを踏まえ、同クラブのあり方自体も考える必要があると考えている。

4月に石狩八幡小が開校した後、つくしクラブと、現・八幡小学校のファイトキッズクラブの利用状況を踏まえ、保護者のご意見を聞きながら、つくしクラブをどうしていくかということを考えていきたい。

[質疑応答]

(A委員)

つくしクラブが、将来的に八幡に移転する予定があることを、申請段階で情報提供すれば、保護者の選択の考え方も変わってくるのではと思うが、このことは情報提供されているのでしょうか？

(伊藤子ども政策担当次長)

つくしクラブをどうしていくかという方向性は未だ決まっておらず、これから保護者等の意見等も伺いながら判断していきたいと考えており、今、説明した内容については、未だ保護者にはお伝えしていない。

今回の申請者の中にも、友人がどちらのクラブを利用するかで迷われている方もおり、どちらのクラブを選択しても差し支えない取扱いとしている。選択については、保護者の意向を考慮させていただく。

つくしクラブの利用者が少なくなっている状況を踏まえ、事業としても見直しをせざるを得ないことについてご理解いただければと考えている。(→ A委員、了承)

以上、全体で了承された。

※次回の開催日時について（松永総務企画課長より）

当委員会の最後となる会議を、3月中旬に開催予定である旨を説明し、全体了承を得た。

閉 会

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和2年 3月11日

石狩八幡小学校開校準備委員会

委員長 戎 屋 健 一